

# 「心のノート」を効果的に活用する

Q 「心のノート」の効果的な活用方法は？



心のノートは、子どもが道徳的価値および自己の生き方について考えるきっかけとなるように作られたものです。家庭を含めた日常生活や学校の教育活動の中で、工夫して活用しましょう。なお、教科書や副読本ではありません。

## 「心のノート」の3つの特徴

- 1 子ども一人一人が自ら学習するための冊子
- 2 子どもの心の記録となる冊子
- 3 学校と家庭の「架け橋」となる冊子

## 多様な場面での活用とそれを促す工夫

### 1 学校や家庭の日常生活の中で活用する。

朝や帰りの学活や読書タイムで 休み時間や放課後などの自由な時間に 読む時間を設ける

週末の帰りの学活で 書く時間を設ける。

掲示コーナーを 心のノートコーナーとして設ける。

週末や長期休業中に 持ち帰り、家族で話題にする。

### 2 道徳の時間で活用する。

導入段階の題材として

文やイラスト、写真等を用いて主題への関心を高める。

展開段階の中心資料として

詩や作文、絵や写真で構成されたページを生かして内容を深める。

展開段階の補助資料として

話し合いを深める参考情報や、新たな価値に気付く手がかりとして用いる。

週末段階の題材として

メッセージや名言、詩などを用いて学習したことの明確化を図る。

事前、事後の関連付けとして

事前に学習につながる問いかけや、事後に日常生活につながる投げかけをする。



### 3 各教科の学習内容との関連で活用する。

#### 各教科（や外国語活動）の学習内容との関連で

調べたり話し合ったりする際の補助教材とする。

動機付けやまとめの際の情報として生かす。等

#### 総合的な学習の時間の中で

課題を見つけるヒントや、体験的な学習への動機付けにする。

#### 特別活動の各内容と関連させて

##### 《学級活動》

特に学級活動（2）に関わる指導などで生かす。事前・事後で生かすこともできる。

##### 《学校行事》

事前・事後指導で体験したことを振り返ったり、まとめたり、発表し合ったりする時に活用する。動機付けを図る際の題材としても生かすことができる。

##### 《児童会・生徒会活動》

自治的・自発的な活動での動機付けに用いる。

道徳や各教科等の年間計画に、活用しやすいように位置付けましょう。

### 4 家庭・地域と学校の連携を深める場等で活用する。

#### 学校だよりや学級だより等で

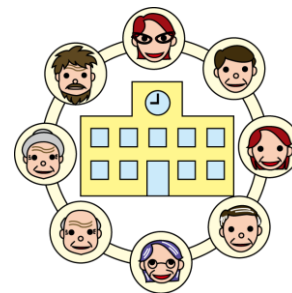
「心のノート」の内容を紹介し、大人が連携して活用する。

#### 保護者会や地域の連携協議会等で

道徳教育について話題にする際、「心のノート」の内容を紹介し、道徳教育への共通理解を深める。

#### 道徳の時間の公開授業等で

「心のノート」を活用し、連携をより充実させる。



### 5 その他、各学校間の交流の際などに活用する。

#### 活用にあたっての留意点

- 1 子どもの思いやプライバシー等へ配慮する。
- 2 一人一人のノートが個性的なものにするよう援助する。
- 3 保護者や地域の人々の協力が得られるようにする。
- 4 簡単な約束などを決めて、子どもが活用しやすいようにする。

#### 【参考資料】

- ・道徳教育推進指導資料「心のノート」を生かした道徳教育の展開 文部科学省 平成15年
- ・心のノート活用のために 文部科学省 平成21年度改訂版